サーモスタット取扱説明書

⚠ 警告

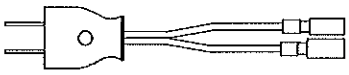
・サーモスタットを接続する際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の恐れがあります。
・バーナーカバーやバーナー点検蓋を取り付けるとき、コード等を挟みこまないようにしてください。
感電の恐れがあります。（Bタイプの接続コードの場合）
・サーモスタットは必ず弊社純正部品を使用してください。

1．接続方法

1)．接続コードを選びます

お使い頂いているヒータの機種によって、サーモスタット本体とヒータの間を接続するコードが異なります。サーモスタットと同梱されている３種類のコードから、御使用頂く接続コードを選んでください。

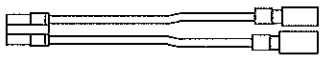
①Ａタイプの接続コード



適用機種

HPS80C, HPS80D, HPC80, HP160, HPE150A, HPS250C, HPS250D, HPE250, HPS310D-L, HPS310E-L, HPS310F-L, HPE310-L, HP350-L, HPS310D, HPS310E, HPD36-L, HPS360, HPE370, HPS830, HPS830A, HS270-L, HS290-L, HEA170D, HEA170E, HEA170D-B, HEA170E-B

②Ｂタイプの接続コード



適用機種

HR120C, HR120D, HR220A, HR220A-L, HR330F, HR330G, HR330H, HRS330, HR330D-L, HR330E-L

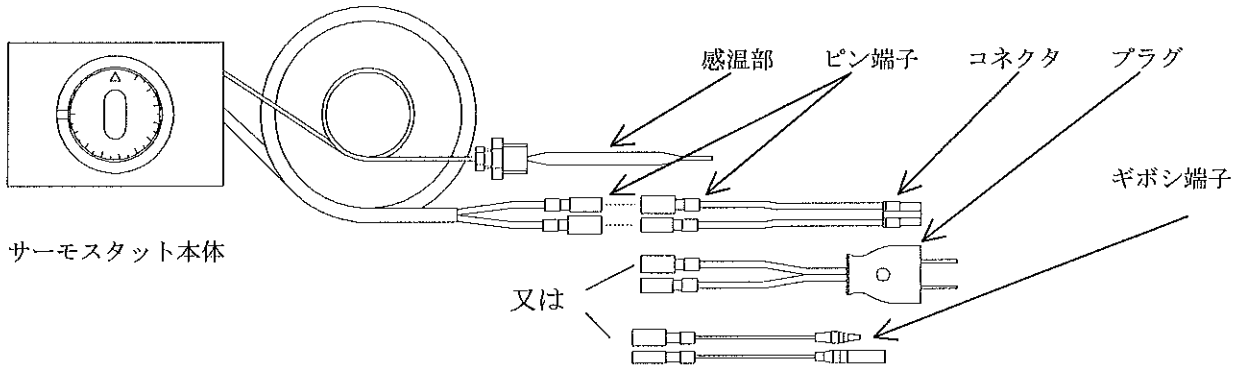
③Ｃタイプの接続コード

適用機種

HPE80,JH80A

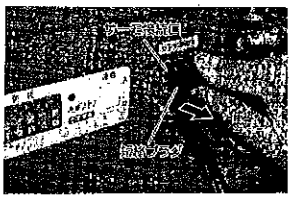
2)．選んだ接続コードのピン端子をサーモスタット本体のピン端子と接続してください。

図は高温用サーモスタットですが、ピン端子の形状は低温及び防湿用サーモスタットの場合でも同じです。

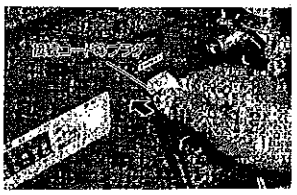


3)．サーモスタットとヒータを接続してください。

①Ａタイプの接続コードの場合（写真はＨＰＤ３６－Ｌの場合）

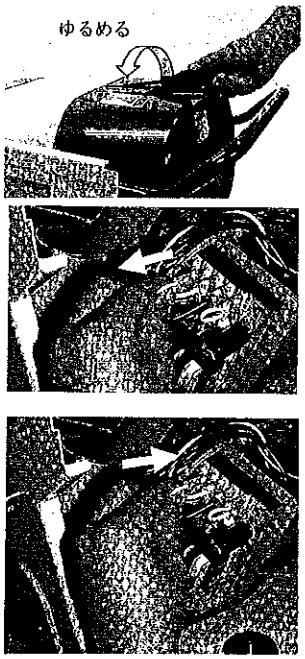


1．短絡プラグを外す。
スイッチパネルのサーモ接続口に付いている短絡プラグを取り外す。



2．サーモスタットのプラグを接続口に差し込む。
サーモスタットに取り付けた接続コードのプラグをサーモ接続口へ差し込む。

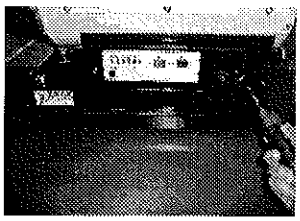
②Bタイプの接続コードの場合（写真はＨＲ１２０Ｄの場合）



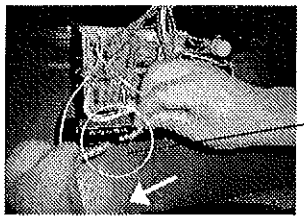
1.バーナーカバーを外す。
（HR330H, HRS330 の場合はバーナー点検蓋）
2.短絡コードを外す。
バーナーコントローラの「サーモスタット」端子台に接続されている短絡コードを取り外す。
（HR330H, HRS330 の場合は「タイマ」端子台）
3.サーモスタットに取り付けた接続コードのコネクタを「サーモスタット」端子台へ差し込む。
（HR330H, HRS330 の場合は「タイマ」端子台）
4.バーナーボックスカバーを取り付ける。
（HR330H, HRS330 の場合はバーナー点検蓋）

③Cタイプの接続コードの場合（写真はＨＰＥ８０の場合）

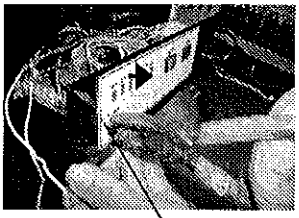
1.コントロールボックスを開ける。



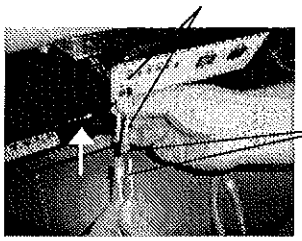
2.バーナコントローラの「サーモスタット」端子台に接続されているサーモ端子の接続部を外す。



3.コードブッシュをコントロールボックスからペンチ等で外す。



4.サーモ端子をコードブッシュではさみ込み、コードブッシュを元の位置に取り付ける。



5.サーモスタットに取り付けた接続コードをサーモ端子へ差し込む。

２．運転方法

1). 高温用サーモスタットの場合は、感温部を温度調節したい場所に設置してください。低温及び防湿用サーモスタットの場合は、サーモスタットの本体を温度調節したい場所に設置してください。（感温部は本体に内蔵されています）

⚠ 注意

・ヒータの熱風又は赤外線があたる場所は避けてください。過熱しサーモスタットの焼損や火災などの原因となります。

2). サーモスタットの温度設定ダイヤルを回し、調節したい温度に合せてください。

重要事項

サーモスタットの精度及び使用条件等により、温度設定ダイヤルの数値と希望される温度に差があること があります。必ず、実際の運転環境にて、ヒータの動作確認と温度設定ダイヤルの再調整をお願い致します。

3). ヒータの運転スイッチを「入」にしてください。ヒータが自動的に点火・消火を繰り返します。

❗ 注意

・サーモスタットを取り付けて運転すると、自動的に点火・消火を繰り返します。ヒータを使用しない時は、必ず運転スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因になります。